

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	DK171／流行論 (Theory of Fashion)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	ヴィーガニズムと現代社会		
担当者名 (Instructor)	丸山 雄生(MARUYAMA YUKI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	SOX2410	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

#### 授業の目標(Course Objectives)

- ・ヴィーガニズムについての基礎的理解の修得
- ・食、とくに肉食を取り巻く関連領域の議論を踏まえて、ヴィーガニズムの多面性を説明することができる
- ・自らの関心を発展させ、調査し、文献を見つけ、正確に読解してまとめる技術を身につける

This course aims at:

- To know the basics of veganism
- To obtain good understandings about multi aspects of veganism and insights in the related fields
- To develop skills for doing research, reading academic texts, and organizing various sources

#### 授業の内容(Course Contents)

食は単なる本能ではないし、楽しみや喜びにもとどまらない。それはたくさんの社会的な要素が入り交じった複雑な領域であり、その複雑さにおいてテーブルの上に広げられるものとは政治にほかならない。食べることは、文化や経済やジェンダーや人種や種や国際関係や哲学や倫理や宗教やそのほかあらゆるところにつながっている。

本講義はこの食の政治性に注意を払いながらヴィーガニズムを考える。ヴィーガン(肉をはじめとする動物性のものを食べない人)は近年、世界的に拡大しているが、それはポップな流行なのだろうか？ これまでたくさんの新しい食べ物が「ファッションフード」として現れては消えていったように？ 本講義はそうではないと考え、ヴィーガニズムを流行として一面化するのではなく、その多面的な広がりやを議論する。

そのために本講義はヴィーガニズムに関連する領域の思想と実践を検討する。具体的には、フェミニズム、動物研究、動物の権利論、ポストヒューマン、マルチスピーシーズ人類学、グローバリゼーション、気候変動などをめぐる近年の論考を取り上げ、それらを相互に参照する体系的・総合的なヴィーガニズムの理解を作ることを目指す。

よって、本講義はヴィーガンの食事やレシピなどを紹介するものではない。栄養や健康などフードサイエンスを大きく取り上げることもない。そうした実用的情報を期待する向きには合わないことに注意されたい。また、講義内では動物への暴力について多く論じるほか、屠畜など動物の死を含む映像を使用するため、それらの話題やビジュアルが苦手な人は履修前に慎重に検討してほしい。

Eating is more than appetite or joy. It's a complicated practice composed of many social and cultural factors. What we have on the table is all political. Eating is related with culture, economy, gender, race, species, international relations, philosophy, ethics, religion, and everything you think of.

This course examines veganism with particular attention to the politics of foods. The number of vegans has increased across the globe. Is that a mere boom like many "fashion foods" appeared and disappeared through years? This course says no and discusses the multi aspects of veganism, instead of riding on the fancy trend of vegans.

This course carefully considers veganism and related fields. Feminism, animal studies, animal rights, posthuman, multi-species anthropology, globalization, climate crisis and other subjects would be examined. The goal is to build a synthetic understanding of veganism that refers and is referred with these fields.

Disclaimers: (1) This course tells little about vegan menus, recipes, health, or nutrition. If you wanted to have practical knowledge, this course would not be for you. (2) This course discusses death of animals and violence to them and shows visual images of killing of animals. Those who don't like these topics and images are advised to think carefully before registration.

#### 授業計画(Course Schedule)

1. イントロダクション  
近年のヴィーガンの流行について
2. ヴィーガニズムをめぐる予備的考察  
汚穢、禁忌、宗教、「食べるため」と「考えるため」
3. ヴィーガニズムとジェンダー(1)  
キャロル・アダムズを読み直す、肉食と家父長制、カーニズム
4. ヴィーガニズムとジェンダー(2)

- 動物愛護、センチメンタリズムからエコフェミニズムへ
5. ヴィーガン・スタディーズと動物研究(1)  
動物の権利論、社会史、ピーター・シンガー以降の権利論
  6. ヴィーガン・スタディーズと動物研究(2)  
動物論的転回とその後の動物研究、人間と動物の関係史
  7. ヴィーガン・スタディーズと動物研究(3)  
存在論的転回、マルチスピーシーズ人類学、ANT、ポストヒューマン、動物の主体性
  8. ヴィーガン・スタディーズと動物研究(4)  
動物の他者性、インターセクショナリティ、人種、障害
  9. ヴィーガン・スタディーズと動物研究(5)  
批判的動物研究(CAS)、動物を殺すことをめぐる議論、ハンティングの哲学
  10. ヴィーガニズムと現代的課題(1)  
グローバリゼーション、ファーストフード、CAFO、企業資本主義
  11. ヴィーガニズムと現代的課題(2)  
気候変動と肉食、人新世、食物倫理、都市農業、CSA、農の思想と実践
  12. ヴィーガニズムと現代的課題(3)  
コロナ、肉食と疫病、食の安全
  13. ヴィーガニズムと消費文化(1)  
ファッションフード、セレブリティ・アクティヴィズム
  14. ヴィーガニズムと消費文化(2)  
ツーリズムと食

#### 授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

本講義では毎回の授業に関連する参考文献が課される。参考文献は書籍の抜粋や論文で、ほぼ毎回複数あり、学習支援システムを用いて配付する。講義はそれらを読んでいることを前提として行われる。

よって、各回の予習として、履修者は事前に参考文献を読むこと、また不明点について調べることが求められる。

また、復習として、授業内容の再確認と参考文献の読み直しが必要となる。個別具体的な作業が必要な場合は授業内で指示する。課題を課す場合も授業内で指示する。

#### 成績評価方法・基準(Evaluation)

最終レポート(Final Report)(20%) / レポート 2(20%) / レポート 1(20%) / 授業の理解および議論への貢献(40%)

(1) 平常点: 授業の理解および議論への貢献(40%)リアクションペーパーなどを通じて理解を確認するほか、授業内での質問、意見など議論に貢献する積極性を高く評価する。(2) 学期中の課題(60%)学期中に3回程度の課題を予定している。詳細については授業内で説明し、学習支援システムを用いて提出する。(1)と(2)を総合し、到達目標に定めた知識、理解、技能に照らし合わせて成績評価をする。この授業では剽窃は一切認めない。不正行為は不合格とする。注意点は授業内で説明する。レポートの書き方については授業内で指示する。それに従わないものは評価しない。

#### テキスト(Textbooks)

なし

#### 参考文献(Readings)

授業支援システムで配付する

#### その他(HP等)(Others(e.g.HP))

パワーポイントを使用した講義形式で、参考文献や映像資料を適宜用いる。

受講者の数によるがなんらかのかたちで講義への参加を促す。

参考文献の配付、課題の提出には、授業支援システムを用いる。

フィードバックは、受講者の数に合わせて最適な方法をとる。

#### 注意事項(Notice)